

東京都 江戸川区立上一色中学校



	氏名	校長・教員
監督名	西尾 弘幸	○
コーチ	生沼 裕太	○

学校長	清水 寿之
学校所在地	東京都江戸川区上一色1-8-11
電話	03-3653-5407

背番号	選手氏名	ふりがな	位置	学年	投	打
1	深沢 鳳介	ふかざわ おうすけ	投手	3	右	右
2	富田 倅丞	とみた こうすけ	捕手	3	右	右
3	山口 志温	やまぐち しおん	一塁手	3	右	右
4	安達 健太	あだち けんた	二塁手	3	右	右
⑤	石神 遥樹	いしがみ はるき	三塁手	3	右	右
6	苅部 力翔	かりべ りきと	遊撃手	3	右	右
7	渡辺 陽太	わたなべ ようた	左翼手	3	右	右
8	岡田 翔馬	おかだ しょうま	中堅手	3	右	右
9	館野 智靖	たての ともやす	右翼手	3	左	左
10	市川 大地	いちかわ だいち	内野手	3	右	右
11	實川 知生	じつかわ ともき	投手	3	右	右
12	山口 真央	やまぐち まお	投手	3	左	左
13	田保 達樹	たんぼ たつき	外野手	3	右	右
14	地下 武蔵	じげ むさし	内野手	3	右	右
15	服部 正治	はっとり まさよし	捕手	3	右	右
16	中村 海友	なかむら かいと	外野手	3	右	右
17	松山 和磨	まつやま かずま	内野手	3	右	右
18	吉田 拓誠	よしだ たくみ	外野手	3	右	右

平成30年度 全国中学校体育大会
第40回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

関東ブロック 第1位	ふりがな 学校名	とうきょうと 東京都	とうきょうとえどがわくりつかみいっしきちゅうがっこう 東京都江戸川区立上一色中学校								
チームの戦力分析											
1 投手について											
深沢、館野、岡田、實川、山口真央の五枚看板です。それぞれが個性豊かな投手で、かつ安定感もあります。											
2 守備について											
夏の東京都大会・関東大会を通して、守備に安定感が出てきました。全国大会では、確実かつ攻める守備に期待したいです。											
3 攻撃について											
「打ち勝つ野球」を目指して、日々、バットを振り込んできました。思い切り振り抜くバッティングが広島全中でもできたら本望です。											
4 チームの特徴											
関東大会の決勝まで、厳しい試合を凌いで勝ち上がってきました。この代は、夏の大会の中で成長し強くなってきたチームです。どんなに苦しい状況になっても、今まで培ってきたことを信じて、笑顔で戦ってきました。また、ピッチャーの安定、守備力の安定により攻撃に集中できたように思います。上一色中野球部の合言葉は「生命力・・・野球を通して生き抜く力を身につけよう」です。この言葉は、スポーツジャーナリストの安倍昌彦さんから贈っていただき、横断幕にもなっています。この言葉を胸に広島全中で最高のパフォーマンスをしたいです。											
5 全国中学校軟式野球大会出場回数		3回	6 チーム成績(練習試合を含む) 122勝 11敗 10分								
7 本大会までの軌跡(大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください)											
大会			地区大会		都道府県大会			ブロック大会			
回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校
			準決勝	3-0	小松川一中	2回戦	7-0	芦花中	1回戦	7-0	入間向原中
			決勝	6-0	東葛西中	3回戦	2-0	羽村一中	2回戦	9-2	宮本中
						準々決勝	4-0	国分寺二中	準決勝	2-0	櫛形中
						準決勝	2-1	小松川一中	決勝	5-3	駿台学園中
						決勝	1-2	駿台学園中			
8 学校紹介(開会式のアナウンスの参考にさせていただきます)											
上一色中学校は、東京都の最東、江戸川区にあります。江戸川を渡ると、そこは千葉県の市川市になります。上一色には、まだ下町情緒が残っていて、夏になると各町内会のお祭りや盆踊りで大変賑わいます。また、上一色中学校の規模は9学級と、東京都では中規模の学校です。1学年男子の野球部員が27名と多く、学年男子の半分が野球部ということになります。本校では部活動が大変盛んです。吹奏楽部は野球部の友情応援ため、暑い中、関東大会の球場で演奏してくれました。											
9 主将の抱負											
私たちは、中学野球の頂点である全中を目指して日々練習に励んできました。今まで学んできたことを全て出し切り、上一色中野球部の集大成にしたいと思います。そして、先生方、保護者の皆さん、選手が心をひとつにし、悔いの残らないよう全力で戦い、頂点を勝ち取ります。											